

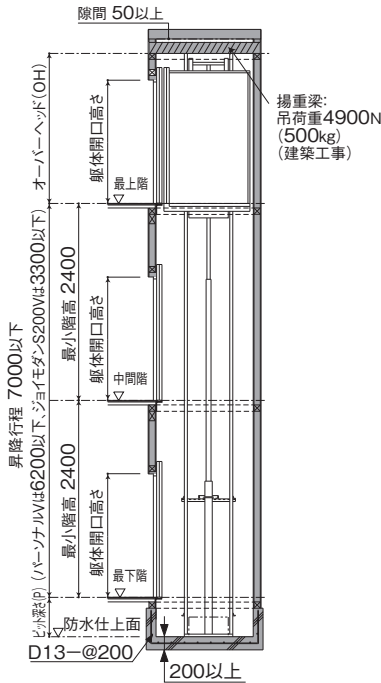
昇降路断面図

(単位:mm)

油圧式

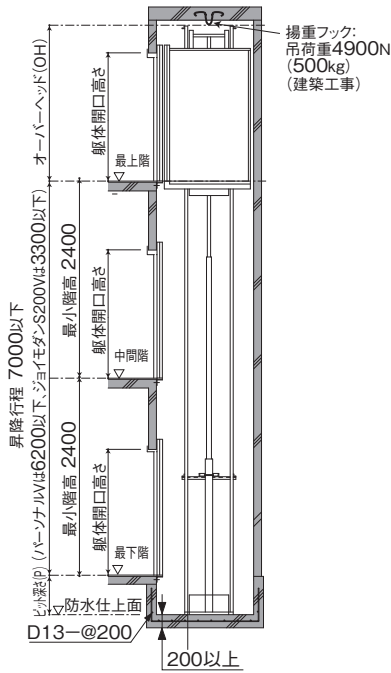
グラントV/XLクラシックV/1414クラシックV/1214ジョイモダンS200V/1212ジョイモダンS200V/1212クラシックV/1608ジョイモダンS200V/0816パーソナルV/1208パーソナルV/0812パーソナルV

木造住宅の場合



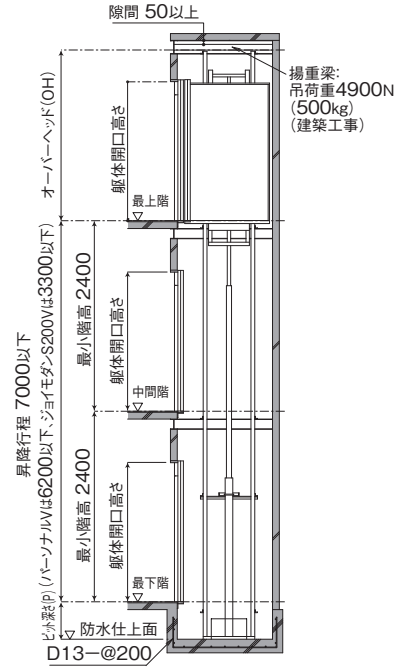
ビット床の配筋は直径13mm、ピッチ200mmの網状としてください。(建築工事)

コンクリート住宅の場合



ビット床の配筋は直径13mm、ピッチ200mmの網状としてください。(建築工事)

鉄骨住宅の場合



ビット床の配筋は直径13mm、ピッチ200mmの網状としてください。(建築工事)

■ビット深さ(P)とオーバーヘッド(OH) (mm)

グラントV/クラシックV/パーソナルV		
昇降行程	P	OH
7000以下	550~650	2750以上
6300以下※1		2450以上
4100以下		2400以上

※1 パーソナルVは、昇降行程6200mm以下です。

1214ジョイモダンS200VT(自立鉄塔)		
昇降行程	P	OH
3300以下	※2 200~450	2450以上

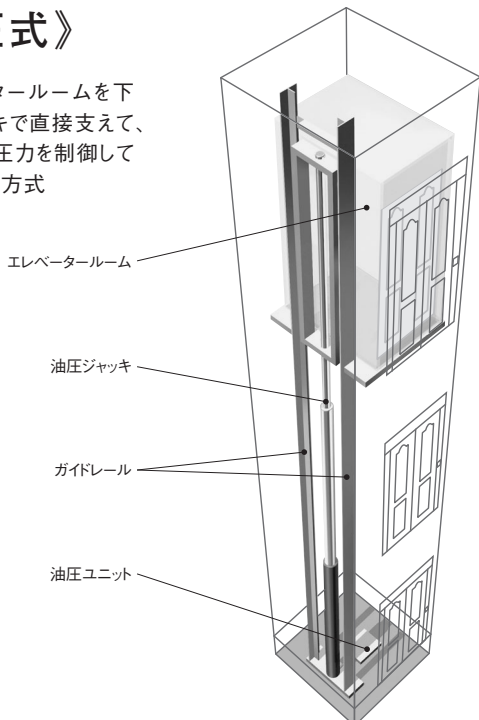
※2 ビット床の配筋は直径13mm、ピッチ200mmの網状のダブルとしてください。(建築工事)

ジョイモダンS200V		
昇降行程	P	OH
3300以下	※3 200~550	2350以上

※3 ビット深さ250mm超の場合は、ビット超過(冠水センサー付)50,000円(税抜)のオプションが必要となります。

《油圧式》

エレベータールームを下からジャッキで直接支えて、作動油の圧力を制御して昇降させる方式



ご注意事項

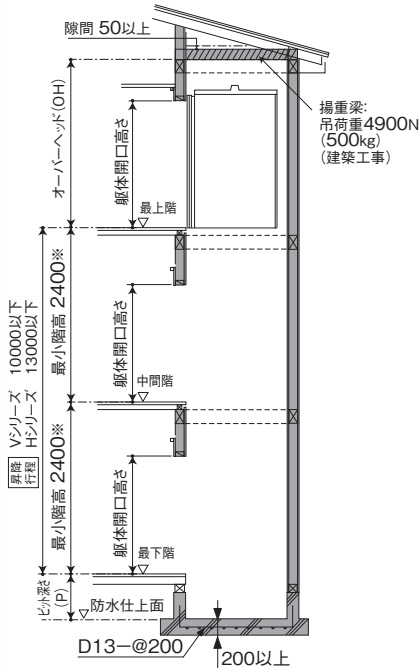
- この商品は屋内専用です。雨、風のあたる場所や屋外には設置しないでください。
- 電気製品ですので、表面に結露を生じやすいような湿気の多い場所に設置しないでください。
- ビット内に漏水などがないように、防水仕上げを施してください。この場合、防水仕上げ後の有効寸法で昇降路寸法を確保してください。
- 昇降路内にはエレベーターに使用する電源線、電話線以外に他の電線、配管などを設けることはできません。(建築基準法施行令第129条の2の5)従いまして、既存住宅の基礎に通風孔、点検口等の穴が残っているような場合は、上記法律に基づき不可となりますので、確実に埋めていただくようお願いします。
- 昇降路は、人または物が昇降路内の機器に触れないよう、ビット内や天井裏も含めてすき間のない構造としてください。(建築基準法施行令第129条の7による)
- 建物構造、階高などによって納まり寸法が異なる場合があります。ホームエレベーターの設計につきましては、当社にご相談ください。
- 昇降路の壁の強度について
任意の5cm²の面に、これと直角な方向の300Nの力が昇降路外から作用した場合において、次のイ及びロに適合すること。
イ、15mmを超える変形が生じないものであること。
ロ、塑性変形が生じないものであること。
(平成20年国土交通省示第1454号)
- 昇降路内に煙感知器を設ける場合は、点検口に安全スイッチ及び鍵を取り付けるなどの措置を行い、点検口が開いた時はエレベーターの動力を切り、動かないようにしなければなりません(平成20年 告示1454号第一号ニ)。詳しくはご相談ください。
- 温度(摂氏-5度~40度の範囲)、湿度(月平均90%以下、日平均95%以下)、特に結露、電磁波(電界強度10V/m以下)など一般的な環境においての対策を施して、設置されるように計画してください。

※ 詳細は、設計資料集及び施工図面をご覧ください。

ロープ式

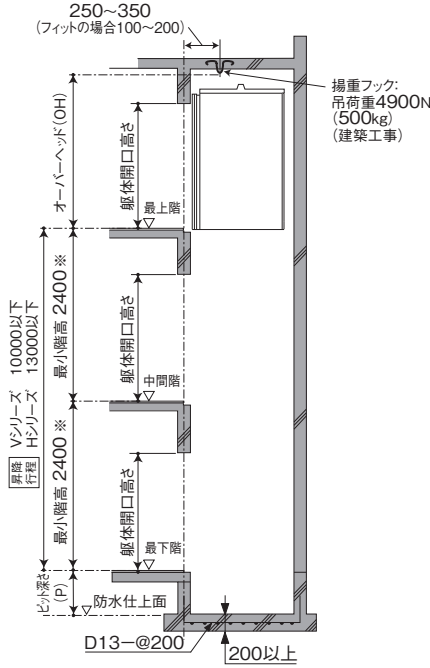
1418フォレストV・1418フォレストH / XLミディモダンV / XLワイドV・XLワイドH / 1414ミディモダンV・1414ミディモダンH / XLスリムモダンV / 1212スリムモダンV・1212スリムモダンH / 1608フィットV・1608フィットH / 小型エレベーターXLウェルハートV / 小型エレベーターウェルハートV / 小型エレベーターXLミディモダンV / 小型エレベーターXLワイドV

木造住宅の場合



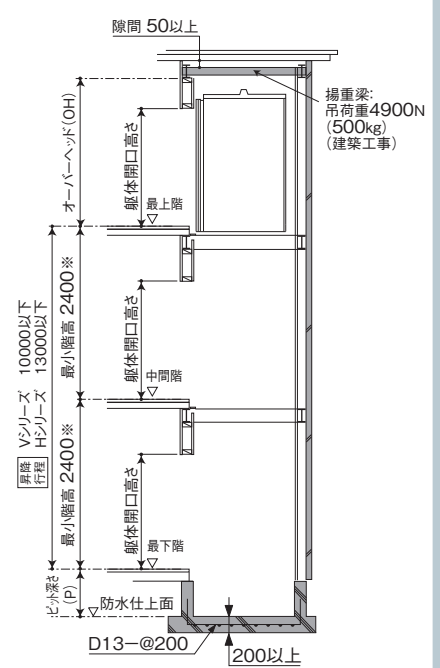
ビット床の配筋は直径13mm、ピッチ200mmの網状としてください。(建築工事)
※地震時管制運転の規定により最大階高は9600mmです。

コンクリート住宅の場合



ビット床の配筋は直径13mm、ピッチ200mmの網状としてください。(建築工事)
※地震時管制運転の規定により最大階高は9600mmです。

鉄骨住宅の場合



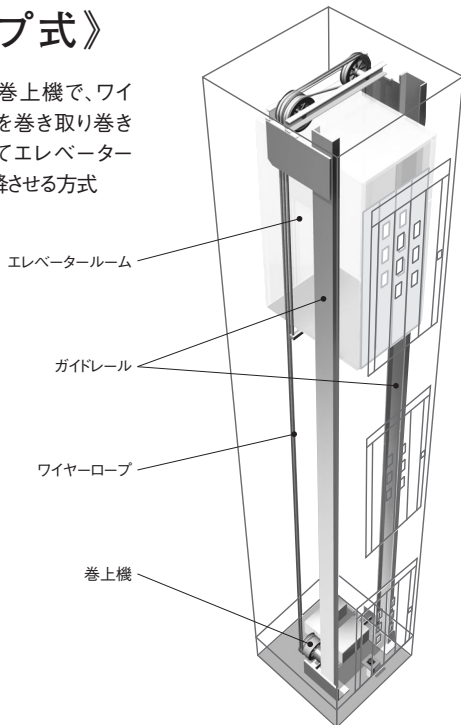
ビット床の配筋は直径13mm、ピッチ200mmの網状としてください。(建築工事)
※地震時管制運転の規定により最大階高は9600mmです。

■ビット深さ(P)とオーバーヘッド(OH) (mm)

昇降行程	P	OH
10000以下	550~900	2400以上

《ロープ式》

ドラム型の巻上機で、ワイヤーロープを巻き取り巻き戻したりしてエレベータールームを昇降させる方式



ご注意事項

- この商品は屋内専用です。雨、風のあたる場所や屋外には設置しないでください。
- 電気製品ですので、表面に結露を生じるような湿気の多い場所に設置しないでください。
- ビット内に漏水などがないように、防水仕上げを施してください。この場合、防水仕上げ後の有効寸法で昇降路寸法を確保してください。
- 昇降路内にはエレベーターに使用する電源線、電話線以外に他の電線、配管などを設けることはできません。(建築基準法施行令第129条の2の5)従いまして、既存住宅の基礎に通風孔、点検口等の穴が残っているような場合は、上記法律に基づき不可となりますので、確実に埋めていただくようお願いいたします。
- 昇降路は、人または物が昇降路内の機器に触れないよう、ビット内や天井裏も含めてすき間のない構造としてください。(建築基準法施行令第129条の7による)
- 建物構造、階高などによって納まり寸法が異なる場合があります。ホームエレベーターの設計につきましては、当社にご相談ください。
- 昇降路の壁の強度について
任意の5cm²の面に、これと直角な方向の300Nの力が昇降路外から作用した場合において、次のイ及びロに適合するものであること。
イ、15mmを超える変形が生じないものであること。
ロ、塑性変形が生じないものであること。
(平成20年国土交通省示第1454号)
- 昇降路内に煙感知器を設ける場合は、点検口に安全スイッチ及び鍵を取り付けるなどの措置を行い、点検口が開いた時はエレベーターの動力を切り、動かないようにしなければなりません(平成20年告示1454号第一号ニ)。詳しくはご相談ください。
- 温度(摂氏-5度~40度の範囲)、湿度(月平均90%以下、日平均95%以下)、特に結露、電磁波(電界強度10V/m以下)など一般的な環境においての対策を施して、設置されるように計画してください。

※ 詳細は、設計資料集及び施工図面をご覧ください。